

平成30年度第2回県南東部地域医療構想調整会議議事概要

日時:平成30年10月26日(金)

13:30~14:40

場所:ピュアリティまきび

1 挨拶

備前保健所 徳山所長

2 議事

(1) 地域医療構想調整会議の活性化に向けた方策への対応について

(資料1、1-2、参考資料1により説明)

- ・各構想区域の地域医療構想調整会議における議論を円滑に進める観点から、岡山県地域医療構想調整会議を設置する。委員は資料1のとおり
- ・地域医療構想調整会議アドバイザーについて、岡山県は3名を推薦。

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 教授 浜田 淳

岡山県保健福祉部医療推進課 課長 則安 俊昭

備前保健所 所長 毛利 好孝

<質問・意見なし>

(2) 非稼働病棟を有する医療機関への対応について(資料2-1、2-2、3により説明)

- ・平成29年度病床機能報告から、県南東部圏域の非稼働病床を有するのは19医療機関(資料3のとおり)
- ・非稼働病棟を有する医療機関に対して、県は地域医療構想調整会議へ出席し、今後の病棟運用見通しに関する計画について説明を求め、地域医療構想調整会議において病棟維持の必要性について議論することとなっている。(参考資料2「地域医療構想の進め方について」P.3 イ(ア)) 今後の議論の進め方について、事務局からは、次の2案を提示。

①すべての医療機関に説明を求める。

②まずは意向調査(内容については資料2-2)を実施し、その結果をもって県南東部地域医療構想調整会議において議論。さらに説明を求める必要がある医療機関に対しては、会議へ出席し計画についての説明を求める。協議の結果、案②とする。調査の内容については案2-2のとおり。

(3) 川崎医科大学高齢者医療センターの開設について(資料4により説明)

- ・平成33年に開設予定。機能としては、地域包括ケア、回復期を予定している。また、医療福祉人材育成のための実習機関としても役割を持つという内容について、調整会議としての異論はなし。

3 閉会